

科目名	公衆衛生学			ナンバリング	HYG261	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	佐藤 陽	担当教員	○佐藤 陽、蝦名敬一				

授業の概要	疾病予防、さらには健康の維持・増進に必須の公衆衛生上の知識のうち、薬剤師として身につけておくことが必要とされる基本的事項を学修することを目的とする。具体的には 1. 健康と疾病の概念 2. 保健統計 3. 疫学 4. 疾病予防とは 5. 感染症とその予防 6. 生活習慣病とその予防 7. 母子保健 8. 労働衛生について解説する。						
到達目標	1.健康と疾病の概念の変遷と、その理由を説明できる。 2. 人口統計の意義、人口統計及び傷病統計に関する指標、人口動態(死因別死亡率等)の変遷について説明できる。3. 疫学の役割・三要因(病因・環境要因・宿主要因)・種類(記述疫学・分析疫学など)とその方法、オッズ比、相対危険度、寄与危険度、信頼区間について説明できる。4. 一次・二次・三次予防、健康増進政策(健康日本21等)について説明できる。5. 感染症(日和見感染症、院内感染症、新興感染症、再興感染症)、感染症法における感染症とその分類、性感染症とその予防対策、予防接種の意義と方法について説明できる。6. 生活習慣病の種類とその動向や危険因子とその予防法、生活習慣と疾病のかかりについて説明できる。7. 新生児マスキングの意義、母子感染する疾患とその予防対策について説明できる。 8. 労働災害、職業性疾病、労働衛生管理について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	講義内で提示されるキーワードは必ず書き出し、その意味を説明できるようにする。。次の段階では、キーワード同士の繋がりを考えて人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する薬剤師の活動を説明できるようにする。講義で示されるまとめのスライドや、教科書の図を自分の言葉で説明できるようになることを一つの目標として学習に取り組む。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
		1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
	○	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
		3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
	○	5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①人々(集団)の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握するために、保健統計と疫学に関する基本的事項を、各項目に関するキーワードを用いて説明できる。 ②健康を理解し疾病の予防に貢献できるようになるために、感染症、生活習慣病、職業病などについての現状とその予防に関する基本的事項を、各項目に関するキーワードを用いて説明できる。	保健統計と疫学、感染症、生活習慣病、職業病などに関する基本的事項に関するキーワード間の繋がりを理解した上で、人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する薬剤師の活動を概説できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					100%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			加点はしない。欠席は減点となる事がある。

課題、評価のフィードバック	1 期末試験解答用紙は、学生から要請があったらいつでも開示できるよう準備しておく。 2 最終成績評価が60点未満の学生には学習指導を行い、ある期間において再試験を受けさせる。
---------------	--

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	保健統計①	人口統計の意義、人口静態と人口動態について解説する。	SBO: D1-(1)-(2)-1
	第2回	保健統計②	国勢調査の目的と意義、死亡に関する指標の定義と意義、および人口の将来予測に必要な指標とその意義について解説する。	SBO: D1-(1)-(2)-2
	第3回	健康と疾病をめぐる日本の現状	死因別死亡率の変遷、人口の推移と将来予測、および高齢化と少子化によりもたらされる問題点について解説する。	SBO: D1-(1)-(2)-3
	第4回	疫学①	疾病予防における疫学の役割、疫学の三要因(病因,環境要因,宿主要因)について解説する。	SBO: D1-(1)-(3)-1,2
	第5回	疫学②	疫学の種類(記述疫学,分析疫学など)とその方法について解説する。	SBO: D1-(1)-(3)-3
	第6回	疫学③	オッズ比、相対危険度、寄与危険度、信頼区間およびそれら計算法について解説する。	SBO: D1-(1)-(1)-1
	第7回	健康とは	健康と疾病の概念の変遷と、その理由、およびWHOの役割について解説する。	SBO: D1-(3)-(2)-3,4,ア-D1-(1)-1
	第8回	疾病の予防とは	一次・二次・三次予防、予防接種,新生児マススクリーニングの意義、代表的な検査項目について解説する。	SBO: D1-(2)-(1)-1,2 ,D1-(2)-(4)-1
	第9回	感染症の現状とその予防①	現代における感染症の特徴、新興感染症および再興感染症について解説する。	SBO: D1-(2)-(2)-1
	第10回	感染症の現状とその予防②	一、二、三類感染症および代表的な四、五類感染症と、その分類の根拠、母子感染する疾患の予防対策などについて解説する。	SBO: D1-(2)-(2)-2 , SBO: D1-(2)-(4)-2
	第11回	感染症の現状とその予防③	性行為感染症の予防対策と治療、定期予防接種の種類・接種時期などを解説する。	SBO: D1-(2)-(2)-3,4
	第12回	生活習慣病とその予防①	生活習慣病の種類とその動向や危険因子について解説する。	SBO: D1-(2)-(3)-1,2
	第13回	生活習慣病とその予防②	生活習慣と疾病のかかわりについて解説する。	SBO: D1-(2)-(3)-3
	第14回	職業病とその予防	主な職業病と、その原因・症状を解説する。	SBO: D1-(2)-(5)-1,2
	第15回	まとめ 第1回から第14回の要点整理	第1回から第14回の復習、要点整理を行う。	
	試験	全講義終了後に期末試験を実施する。試験範囲は全範囲とする。試験実施日は、掲示板および薬学部ポータルサイトに掲示されるので、必ず確認すること。		
授業の進め方		基本的に講義中心とする。		
授業外学習の指示		配布資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず教科書で確認するか教員に質問すること。余裕があれば、次回の講義に対応する教科書の該当箇所を読み、概要を理解しておく。関連する国家試験の過去問を解いてみることも勧める。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	「スタンダード薬学シリーズⅡ-5 衛生薬学」日本薬学会編、東京化学同人、6,100 円、ISBN978-4-8079-1711-2
参考書	「薬剤師国家試験対策参考書 衛生 4」青本、薬学ゼミナール、3,300 円、ISBN978-4-904229-86-6
参考URLなど	なし
その他	薬剤師として求められる基本的な資質 ⑤基礎的な科学力 ⑦地域の保健・医療における実践的能力 ⑧研究能力 アドバンスト:0% 準備教育:0% 大学独自:0%